

■教員情報

氏名/name		山本浩史 / Hirofumi Yamamoto
職 位		教授
所 属		地域福祉学科
学 位		博士（社会福祉）、博士（文化科学）、修士（教育学）、修士（社会学）
免許・資格		社会福祉士、防災士
実務経歴		医療機関及び介護保険施設等での実務経験を持つ
専 門		社会福祉学、文化科学、教育学（カリキュラム開発）
授業	大学	社会福祉の原理と政策Ⅰ、福祉教育とボランティアコーディネーション、ソーシャルワーク演習Ⅱ、ソーシャルワーク実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、コミュニティソーシャルワーク実習、公共政策インターンシップ、共生社会実践演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、災害ソーシャルワーク、地域防災論、地域防災演習、にいみの保健医療福祉、地域福祉学特論Ⅰ（社会福祉理論領域）（大学院）
	大学院	—
研究テーマ・研究業績		<p>【研究テーマ】 社会福祉研究、ボランティア研究、福祉教育研究など</p> <p>【研究業績】 主要著書</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本浩史：サービス・ラーニングと市民参画とは何か，クリスティーン・M・クレス他著，吉川幸，前田芳男監訳，ポートランド州立大学ワークショップアラムナイ翻訳，他15名，市民参画とサービス・ラーニング，岡山大学出版，10-27，2020. ・山本浩史：濟世顧問の活動と社会事業．山陽放送学術文化財団編，他7名，慈愛と福祉岡山の先駆者たち．吉備人出版，279-304，2019. ・山本浩史：高齢者の生活理解と福祉教育．阪野貢監修，新崎国広，立石宏昭，他15名，福祉教育のすすめ．ミネルヴァ書房，113-128，2006. ・山本浩史：高齢者分野のボランティア活動．岡本栄一監修，河内昌彦，立石宏昭，他10名，ボランティアのすすめ．ミネルヴァ書房，127-139，2005. <p>主要論文</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山本浩史：西日本豪雨災害における個人ボランティア活動の報告とその省察．地域福祉実践研究(12),日本地域福祉学会，p64-73，2021. ・山本浩史：新見豪雨災害における学生災害支援 チームの活動報告—教員の関与と学生の学びを中心に—．日本福祉教育・ボランティア学習学会研究紀要(Vol.36),日本福祉教育・ボランティア学習学会，p47-58，2021. ・山本浩史：中国地方のある中山間地域に暮らす高齢者の生活を継続させている要因について．中国・四国発！地域共生社会づくりの課題と展望，日本社会福祉学会中国四国地域ブロック編，115-130，東洋図書出版，2018. ・山本浩史：濟世顧問制度におけるケースワーク概念．岡山県立大学保健福祉学部紀要，第19巻，岡山県立大学保健福祉学部，49-61，2013. ・山本浩史：創設期における濟世顧問制度と濟世顧問—笠井信一の思想を踏まえ—．社会福祉学，Vol.53-1(No.101)日本社会福祉学会，117-128，2012. ・山本浩史：石井十次の内面における孤児教育観のパラダイム転換 - 明治20年代前半を中心に．社会福祉学，Vol.50-4(No.92)，日本社会福祉学会，108-112，2010.

	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>山本浩史</u>：石井十次の内面における『廃民』『殖民』観の成立. 社会福祉学, vol.49-2(No.86), 日本社会福祉学会, 44-57, 2008. ・ <u>山本浩史</u>：福祉教育における学校と高齢者福祉施設の主体的・協働関係について. 日本福祉教育・ボランティア学習学会年報, vol.9.2004, 180-201, 2004.
研究キーワード	中山間地域、民生委員、篤志家、濟世顧問制度、石井十次、福祉教育、ボランティア、ボランティアコーディネーション、コミュニティ・ベースド・ラーニングなど
地域活動	<ol style="list-style-type: none"> 1) 岡山県共同募金会配分委員 2) 岡山県社会福祉協議会経営企画委員会 委員長 3) 岡山県社会福祉協議会評議員選任・解任委員会 委員 4) 岡山県運営適正化委員会苦情解決合議体 副委員長 5) 赤磐市生活困窮者自立支援ネットワーク連絡会議座長 6) 総社市ボランティアセンター運営委員会委員長 など
URL	